

「水と衛生」の分野におけるグローバル補助金奨学金の申請について

新卒で、キャリアがない場合は、グローバル補助金での奨学金は非常に困難であり、成功の秘訣は、留学での履修科目(水と衛生に焦点を当てた学問)と将来の計画が合致し、さらに将来の展望が具体的である必要があります。

【重点分野の基本方針より抜粋】

グローバル補助金は、水と衛生の分野における仕事で活躍していくことに関心がある専門職業人のための大学院レベルの奨学金を支援します。ロータリー財団は、グローバル補助金による奨学金の申請書を審査する際、以下の点を考慮します。

1. 水と衛生、または水源管理の分野における申請者のそれまでの職歴・活動歴。
2. 水と衛生、または水源管理に沿った履修課程。例として、水と衛生のエンジニアリング、環境エンジニアリング、水源システムの総合管理、水文学、公共保健が含まれる。
3. 水と衛生に関連した、申請者の将来のキャリア計画。

【ガイドラインより抜粋】

グローバル補助金は、水と衛生の分野におけるキャリアを志願する専門職業人のための大学院レベルの奨学金を支援します。グローバル補助金による奨学金の申請において、財団は以下の要素を考慮します

- 水と衛生の分野における、それまでの職歴・活動歴。
- 水と衛生に沿った履修課程。
- 申請者のキャリア計画、およびそれが水と衛生にどのように関連しているか

各奨学生は個別に審査されます。水と衛生の分野で働くことを計画している奨学生の典型的な学位には、以下が含まれます。

- 統合された水資源の管理
- 公衆衛生
- 環境衛生
- 土木工学（水と衛生）
- 環境工学
- 水文学
- 流域管理

グローバル補助金奨学生の受領資格を財団が判断する際には、キャリア計画が重要な検討事項となります。将来のキャリアとして、水と衛生に関する公衆衛生の専門家、水資源管理者、水と衛生のエンジニア、水道事業者、政府や非営利団体に対する水と衛生の政策アドバイザーなどが考えられます。